

事務事業名		豆・そばによる遊休農地活用事業			会計	一般会計					
課等名		農業課			事業種別	政策		開始	19	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり							
		施策	11	支え、育む産業基盤づくり							
目的	対象(誰・何を)	市内の農業者			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	遊休農地を中心に大豆・そばを栽培してもらう				農家人口(人)			12583		
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	大豆・そば栽培面積(a)			1850	2419	1700				
	定性目標										
	種別										
事業概要	<p>そばや大豆は、播種や肥培管理が比較的容易であることから、市内各所で遊休農地を活用した栽培が行われている。遊休農地活用につながるような動きや地域づくり活動、交流事業における栽培の促進を行う。また、地域内の食品流通販売業者と農業者が連携して地場産のそば・大豆を使用した付加価値の高い商品開発、農業者グループ等が栽培から加工販売までを一貫的に行う取り組み等事業の推進を図る。平成18年度にはNPO法人みどりの風が市とみなみ信州農協からの補助でコンバインを購入した。コンバイン事業主体はNPO法人みどりの風で、管理運営はみなみ信州農協で行い市は低額な料金で収穫作業が可能となるようコンバイン運転事業経費の支援を行う。</p> <p>なお、平成23年度には、平成18年度に導入したコンバインも5年経過により事業当初より栽培面積が拡大してきており消耗が進んでいるため更新し、事業を継続する。</p>										
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標			
	1 そば・大豆コンバインの利用事業補助 2 食品業者と連携した大豆製品の利用拡大と地域ブランド商品開発支援 3 大豆畑トラスト運動支援				1 コンバイン利用件数・面積 2 食品業者の大豆出荷量 3 大豆畑トラストオーナー数			1 そば71件・1459a 大豆61件・960a 2 11.1t 3 22人			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		5,836	930	930	860	22→23 繰越明許費 5,410千円 [23特定財源]きめ細かな交付金					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他		5,410									
一般財源		426	930	930	860						
人件費計(千円)②		465		465							
正規職員所要時間		100		100							
臨時職員所要時間		100		100							
総事業費①+②		6,301	930	1,395	860						
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>遊休農地を活用した大豆栽培について、ケーブルテレビや「広報みどりの風」等でPRし事業の周知に努めた。天候等の条件にも恵まれ、食品業者への出荷実績が向上した。</p>										
改革改善の考え方	①問題点	大豆に関しては、土地によっては連作障害も発生し、また、病害虫の被害報告も多かった。									
	②改革提案	栽培技術の向上を目指して、農業改良普及センター等と連携して実証実験等を行う。									